

○18番（山本健十郎）（登壇）

おはようございます。ただいまから、自参改革クラブを代表してお尋ねいたします。

今年は戦後80年、そしてアメリカでは、トランプ大統領が就任間もなく、世界中に関税旋風が吹きまくり、すぐさま停戦に向け、3年続くロシア・ウクライナ戦争に介入し、2月28日のアメリカでのトランプ大統領とウクライナのゼレンスキー大統領との会談は、ロシアへの対応等を巡り激しい口論となり、この会談は決裂したと、軍事支援一時停止とも報じられました。私は、世界中がアメリカの意のままの動きにされている感じがしてなりません。

国内は、石破政権は自民・公明で過半数に届かず、維新が求める高校の授業料無償化等の負担軽減で合意し、令和7年度の予算は、3党合意で修正され、成立の見通しがついたと思われます。また、岩手県大船渡市の市面積8%消失も気になります。

しかし、世界、国内共に方向性が見通せない状況が継続すると思ひながら、以下、通告に従ひ質問いたしますので、御答弁よろしくお願ひいたします。

最初に、新しいにいはまについてお尋ねいたします。

市長は昨年の11月10日の選挙で御当選を果たされ、3か月が経過いたしました。そして、12月議会を経験され、市政運営に御努力されて取り組まれていると思ひます。市長は、市議、県議を経験されて、新居浜市のトップとしての職務に精励されていますが、現在、どのようなお気持ちで取り組まれているか、まずお伺ひいたします。

そして、市長は公約で、四国で一番の子育て支援、誰も取り残さないやさしいコミュニティづくり、新たな地域経済の活性化戦略、新たな時代に対応したにいはま、災害と危機管理に強い街づくりを、夢や希望の持てる「新しいにいはま」の未来に向かって！と述べられ、その内容については、具体的に言われているものとして、学校給食の無償化、自動運転バスなど地域公共交通の拡充、にいはま版営業本部を設置し、市長によるトップセールス、四国の物流拠点を目指す、市役所前の県道の拡幅と敷島通りを改修することで、川西地区と川東地区の一体化、そして、南海トラフ巨大地震等災害に強い防災対応能力の高い街を目指す、多目的アリーナの建設を検討する、四国ナンバーワンの経済と太鼓祭りの継承に尽力等について、再生と挑戦その先へと市民、有権者に訴えて取り組んでおられることと考えます。

そこで、公約の具体的内容について、今期4年間の行政運営で、事業化に早期に取り組んでいかれる事項についてまずお伺ひをいたします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） おはようございます。自参改革クラブ代表の山本議員さんの御質問にお答えいたします。

新しいにいはまについてでございます。

まず、私がどのような思いで市政運営に当たっているかについてお答えいたします。

昨年11月の市長就任から、3か月余りが経過いたしました。日々その重責を痛感しており、就任以来、市民の皆様から寄せられた期待に応えたいという強い思いを胸に、全力で市政運営に取り組んでおります。

今後におきましても、市議会議員、県議会議員としてのこれまでの経験や実績、人脈を最大限に生かし、時代の変化に即したスピード感のある政策の推進に努め、対話とコミュニケーションに基づく市民の声に寄り添った市政運営に取り組んでいく所存でございます。

次に、早期に事業化に取り組む公約についてでございます。

私は市長選挙において、多くの公約を掲げさせていただきましたが、実現に向け、財源の確保や、一定の期間を要する項目、関係者との調整が必要な項目もございますことから、実現可能な公約から段階的に取り組んでいきたいと考えております。令和7年度におきましては、小中学校体育館への空調設備導入や、新生児スクリーニング検査への補助、（仮称）にいはま版営業本部設立とトップセールス、スマホ市役所実現に向けたキャッシュレス化の促進などに着手してまいりたいと考えております。

今後におきましても、公約実現に向け、全力で取り組んでまいります。

○議長（小野辰夫） 山本健十郎議員。

○18番（山本健十郎）（登壇）市長のほうから、今、御答弁いただきましたが、一応1年間と思いますが、4年、1期ありますので、元気で頑張っていたきたいと思えます。

次に移ります。